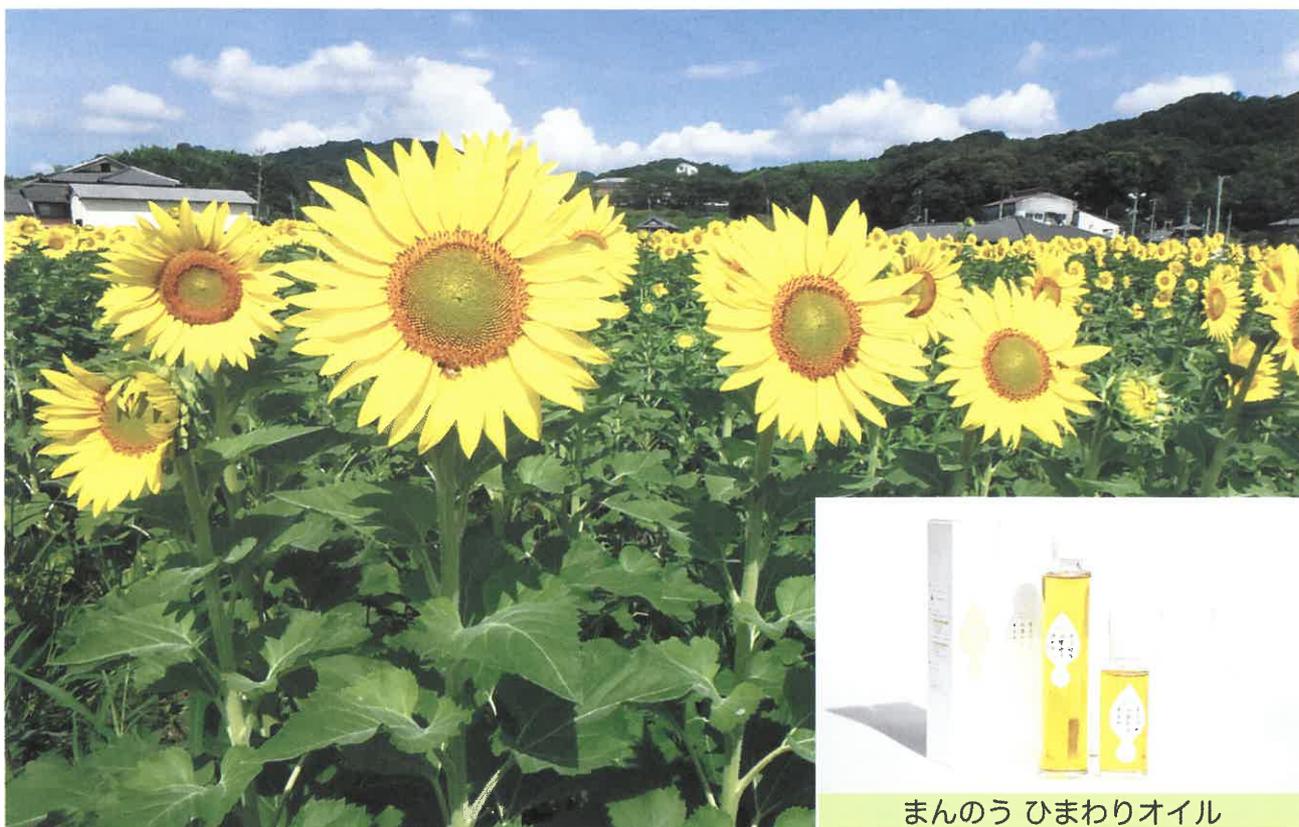




発行：香川県中讃農業改良普及センター 〒765-0014 善通寺市生野本町一丁目1番12号
TEL 0877 (62) 1022 FAX 0877 (62) 1553
E-mail chusannokai@pref.kagawa.lg.jp URL <https://www.pref.kagawa.lg.jp/chusannokai/>

中讃管内の
新しい動き

まんのう町 搾油用ひまわりによる町おこし



まんのう ひまわりオイル

まんのう町では、「まんのうひまわり振興協議会」が中心となり、地域おこしの一環として、24の生産者・団体によって約22haの搾油用ひまわりの栽培が行われています。このひまわりは搾油だけでなく、景観形成による観光客の誘致も担っており、毎年7月上旬には「まんのうひまわり祭り」が開催され、県内外から大勢の観光客が訪れるなど、まんのう町のPRに大きく貢献しています。

平成30年度には町内に、ひまわり子実の乾燥・搾油施設が整備され、収穫後速やかに乾燥・搾油を行うことで高品質なひまわりオイルの生産が可能になりました。また、地域経済における基幹的産業として重要な役割を果たしているふるさと食品を表彰する、平成30年度「優良ふるさと食品中央コンクール」において「農林水産大臣賞」を受賞したことから、今後ますます知名度が上がり、販売数の増加が期待されます。

このほか、ひまわり油を利用した「ひまわりドレッシング」やひまわりの油かすを餌に混ぜて育てた「ひまわり牛」も確実に知名度を上げており、さらに新たな商品の開発にも取り組まれています。

普及センターでは、播種後、鳥類の食害による出芽率の低下等の被害軽減に向け、鳥追い払いの試験ほを設置するなど、地域振興のモデルとなるひまわり生産を支援していきます。

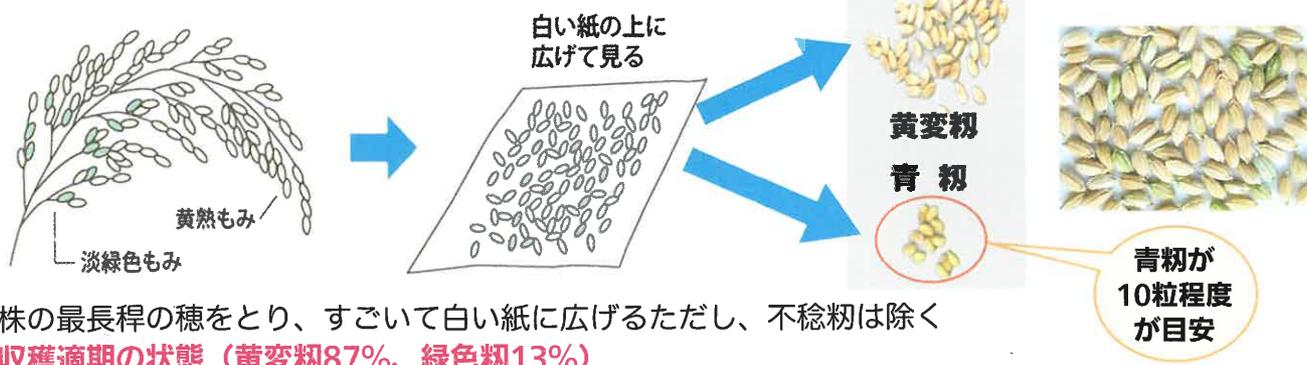
水稻の適期収穫の励行

判定方法	収穫適期の目安
出穂後日数	41日(36~43日)
出穂後積算気温	950~1050℃
籾水分	25~26%(代表穂)
黄変籾率	85~90%

収穫適期はその年の気象条件、地域、栽培条件などによって異なるので、そのほ地での熟れ具合をよく観察し適期に収穫しましょう。

早刈りすると青未熟で充実不足、刈遅れると胴割れや茶米が多くなり、落等要因になります。中庸な株の最も長い穂で、**10~15%の淡緑色籾が見られる時期**が適期です。

収穫の適期の判定



株の最長程の穂をとり、すこいで白い紙に広げるただし、不稔籾は除く
収穫適期の状態(黄変籾87%、緑色籾13%)

水稻(主食用米)の作付け拡大

香川県では、主食用米の生産が10年前と比べて2,700haも減少しており、特にこの5年で2,000haの、大幅な作付の減少が進んでいます。令和元年度さぬきの米づくり推進大会でもお知らせしたとおり、産地としての生産量の確保、水田の維持のため、主食用米の作付け拡大をお願いします。

“麦づくりは播種前対策が安定多収の近道”(稲刈り前から始まっている麦づくり)

令和元年産の麦作は、天候に恵まれ大豊作となり、高品質なものとなりました。今年播きの麦作の参考になる点も多くあり、特に「畑作物」である麦類を安定多収するため、排水対策に重点を置いた基本技術を励行しましょう。

①稲刈り前の水管理

水稻の収穫7日前程度まで、ほ場の条件に応じた灌水を行います。間断灌水(水の駆け引き)により、水管理が容易なほ場に仕上げるよう工夫しましょう。

②水稻収穫後の排水対策

水稻収穫後は早期にほ場の周りにヨケを掘るほか、ほ場内での溝掘りなどを行い、雨水を速やかにほ場外に出しましょう。

③浅耕作業で稲わらマルチを除く

稲わらが多かったほ場では、コンバインで刈り取った稲わらが敷き藁となり乾きにくいいため、浅耕作業で乾田化を促しましょう。



溝堀機を用いた作溝作業

播種前、ココポイント!

雨水が土壌の中に浸み込むと乾燥するまでに時間が掛かります。

明渠設置を進めるほか、暗渠も活用して、適期播種ができるように。

令和2年産の管内の作付目標面積は、小麦は724ha(前年比+7ha)、はだか麦は465ha(同+33ha)となっています。

※目標面積達成のため、地域で話し合い、不作付農地などの有効活用により、麦類の面積拡大に取り組みましょう!

モモのカラス、ヒマワリのハト被害対策について

鳥類による農作物の被害は、上空からの侵入も考慮する必要があるなど、対策が難しく、収穫直前の被害で生産意欲を失う方もいます。普及センターではカラスとハトへの対策について試験展示を行いましたので概要を紹介します。

①飯南地区のモモではカラスにより袋を落とされたり、果実の食害などの被害が発生しています。そこで、既存技術「くぐれんテグス君」を基本に黒色テグスをモモ園地に設置したところ、樹上の被害果割合は無対策区画に対して、展示区画では10分の1に抑えることが出来ました。

②まんのう町では搾油用ヒマワリが、播種から双葉の時期にハトの食害を受け、収穫皆無のほ場も発生するなど、対策に苦慮していました。そこで、カモの麦食害に効果的だった黒色マルチの吹流しを自作し設置したところ効果があり、毎年収穫を諦めていたほ場でほぼ被害を抑えることが出来ました。



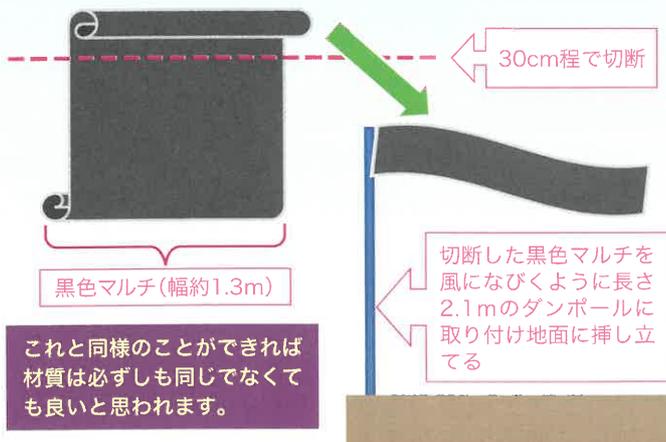
カラスに食害されたモモ果実
(上の葉はちぎられている)



カラス対策展示ほ場区画 (左側)



黒色マルチの吹流し設置の様子



吹流しの製作方法

ポイントをまとめると、

【カラス】

上記の黒色テグス+周囲の防鳥ネット

【ハト】

播種直後の吹流しの設置が有効と考えられます。

場所や時期による効果の差や、「慣れ」による効果の減少も考えられますが、防除の参考にさせていただければと思います。

- ◎「くぐれんテグス君」情報：
(独) 農業研究機構 HP 参照
(<http://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/>)
- ◎「吹流し」は、等間隔で約 30 本/10a を設置

おめでとうございます

◆香川県農業推進会農事功労者表彰

東山 ツヤ子さん(坂出市)

坂出特産の温州みかん栽培を熱心に行いながら、JA女性部長や生活研究グループの結成に尽力するなど、地域のリーダーとして活躍されてきました。

また、香川県農業士として農業後継者の育成など県の農業施策の推進に尽力してられました。



7月7日
香川県農業推進会総会で表彰されました。

三木 幸作さん(坂出市)

長年、坂出特産の金時人参、早掘甘藷を基幹としてブロッコリー、ダイコンを加えた露地野菜の複合経営に取り組んでられました。

多くの組織のリーダーとして活躍し、栽培技術の平準化、産地拡大に努めるなど地域農業の振興に貢献しています。

◆第40回香川県野菜立毛品評会 (敬称略)

農林水産大臣賞	きゅうり	津村 政数 (綾川町)
農林水産省生産局長賞	アスパラガス	大野 翔平 (綾川町)
香川県農政水産部長賞	アスパラガス	川西 清 (丸亀市)
.....	青ネギ	株式会社 三原農園 (善通寺市)
香川県農業協同組合中央会長賞	アスパラガス	竹内 和孝 (まんのう町)
.....	なばな	内海 正明 (丸亀市)
香川県農業協同組合経営管理委員会会長賞	きゅうり	國重 広文 (綾川町)
.....	アスパラガス	大西 修 (丸亀市)
.....	なばな	細川 登 (琴平町)
香川県農業協同組合代表理事長賞	なばな	横井 正浩 (丸亀市)
香川県野菜花き生産者研究会会長賞	アスパラガス	吉田 和宏 (坂出市)
.....	青ネギ	堤 哲哉 (善通寺市)

中讃地区農業後継者クラブ主催の農業経営研修会が開催されました。



7月12日に丸亀市において、農業コンサルタント事業を行うアグリコネクト株式会社の代表取締役CEO 熊本伊織氏を講師に迎えた研修会が開催されました。

今回は、「今後の農業経営に必要なこと」を演題に、講師自身が向き合った自身の会社経営や企業のコンサルタントから実感した、「決めた選択肢を正しくすること」の重要性や、経営者が会社の向かう方向を決め、それを伝えるための、情報収集、考える時間、伝え方について、海外の事例などを紹介しながらご講演いただきました。